

令和6年度事業報告

1 会議

令和6年5月10日(金)に古川町公民館大会議室にて定時総会を開催した。令和5年度事業報告、収支決算報告、重点項目、令和6年度事業計画案及び収支予算案について審議し、承認された。

役員会5回、常任理事会5回を開催した。

内 容	回 数	議 事 事	月	日	曜	会 場
総 会	定 時	令和5年度事業、収支決算報告、重点項目、 令和6年度事業計画案、収支予算案	5	10	金	古川町公民館
役 員 会	第1回	市長要望報告、飛驒地区壮行会、備品要望、スポーツ 少年団講演会、目的部会(法人化検討委員会)	6	7	金	古川町公民館
	第2回	備品要望、県民スポーツ宿泊費、壮行会	8	9	金	古川町公民館
	第3回	賛助会運用規程改正、事務局給与、次期役員選 考、スポーツ振興課との懇談会、壮行会	10	11	金	古川町公民館
	第4回	講習会、県大会派遣費、7年度事業計画	1	24	金	古川町公民館
	第5回	7年度総会要項原案検討	3	28	金	古川町公民館
常任理事会	第1回	令和6年度総会内容検討	4	26	金	古川町公民館
	第2回	備品要望、県民スポーツ宿泊費、壮行会	8	30	金	古川町公民館
	第3回	賛助会費運用規程、スポーツ振興課との 懇談報告、市民大会運営、7年度結団式	11	29	金	古川町公民館
	第4回	県民スポーツ派遣費、7年度事業計画、 7年度結団式	2	14	金	古川町公民館
	第5回	7年度事業計画策定に向けて、総会、会 報4号校正	3	6	金	古川町公民館

2 協会組織力の強化

18競技団体、飛驒市中学校体育連盟、飛驒市スポーツ少年団の20団体が加盟している。諸規程及び令和6年度事業計画に基づき運営を行ってきた。法人化移行の意見が出されたため、法人化検討委員会により協議をした。その結果、法人化が望ましいとの方向性が出たため、次年度に目的部会により具体的に検討していくこととなった。法人化の目的、中長期計画の策定も含めて加盟団体が共通理解をしながら進めていくことが重要である。

賛助会員増に向けての働きかけは活発とはいはず、令和6年度末で法人会員42件、個人会員21件である。法人化を考えていく上でも自己資金獲得の面で重要課題である。

3 加盟団体の組織の充実及び競技力の向上

◇競技力向上

飛騨地区スポーツ大会は7月7日（日）に開催された。飛騨市は13種目にエントリーし、サッカー、バスケットボール女子、バレーボールシニア女子、マスター女子が優勝した。総合得点84点で、2点差で残念ながら下呂市に2位の座を明け渡した。

9月には15日（日）を中心に第16回岐阜県民スポーツ大会が東濃地区近辺で開催された。飛騨市は15種目203名の選手団となった。昨年度より2種目36名の増である。中津川市東美濃ふれあいセンターで開催された総合開会式には会長以下4名が参加した。バスケットボール2位、パワーリフティング3位、サッカー、柔道5位、バレーボール6位、軟式野球、ゲートボールが8位と入賞した。また、2月の冬季大会は、アルペンスキーは高山市、クロスカントリーは郡上市で開催され、スキー競技は高山市について2位であった。結果、総合順位は13位で昨年度より2位アップした。（下記表）事業計画でトップ10入りを目指とし、各競技団体の健闘により、上位入賞を人口規模が多い市が独占する中で、目標には一歩及ばなかったものの13位は大健闘である。次年度以降、更なる競技力アップを目指したい。

今年度初の事業として7月3日に飛騨地区スポーツ大会に向けて壮行会を行った。各団ユニフォームで臨み、各団の抱負、酒井瞭選手、反中真唯選手（共に飛騨市バスケットボール協会）による選手宣誓、その後「頑張ろう三唱」で士気を高めた。終了後のアンケートにより次年度は県民スポーツ大会前に結団式を行う事とした。

第16回岐阜県民スポーツ大会結果

順位	都市名	点数
1	大垣市	215
2	岐阜市	164.2
3	各務原市	127.5
4	可児市	96
5	多治見市	89.3
6	高山市	87.5
7	土岐市	80.1
8	中津川市	72.8
9	閻市	72
10	美濃加茂市	68

順位	都市名	点数
11	恵那市	56.6
12	羽島市	51
13	飛騨市	45.7
14	加茂郡	45
15	瑞浪市	38.6
16	下呂市	37.5
17	不破郡	37
18	養老郡	32
19	郡上市	31
20	本巣市	30.5

順位	都市名	点数
21	羽島郡	30
22	揖斐郡	25.5
23	瑞穂市	25.2
24	美濃市	23
25	山県市	21
26	安八郡	21
27	海津市	19
28	可児郡	15.5
29	本巣郡	13.5
30	大野郡	5

入賞種目	順位
サッカー	5位
バスケットボール	2位
柔道	5位
軟式野球	8位
バレーボール	6位
ゲートボール	8位
パワーリフティング	3位

飛騨市の過去成績

11回(R1)	14位
12回(R2)	24位
13回(R3)	中止
14回(R4)	19位
15回(R5)	15位

◇指導者の資質向上

5月25日（土）には、当協会、飛騨市スポーツ少年団、飛騨市サッカー協会の3者主催により（一財）岐阜県サッカー協会技術委員長FAコーチである松永英機氏によるスポーツ講演会を開催した。講師の経験に裏打ちされた選手の心身の健全育成のこつ、指導者的心構えなどを話してもらい資質向上を狙った。また第二部ではサッカーのジュニアを対象とした実技指導を行った。さらに、3月8日にアスレチックトレーナーの関賢一氏による講演及び実技講習会として「スポーツを行う上で必要な身体作り～体幹トレーニングの理論と実践～」を計画したが、参加者僅少のため中止とし、7年度開催予定とした。

中学校部活動の地域クラブ化が進む中で、指導に従事する会員にとっては資質向上、また競技者自身のレベルアップのためにも有益な講習会を計画しているが、会員のニーズに合った研修となるよう実施期日、内容等をよく練ることが必要である。

指導者資格取得や更新のための講習への参加者に対して支援を行い、指導者育成と支出向上に尽力している。

◇ジュニア育成事業

飛騨市バレーボール連盟主催による「TUNAGU バレーボール無料体験」、飛騨市柔道協会による体験ワーク「柔道しようぜ」が開催された。また昨年度に引き続き飛騨市グラウンド・ゴルフ協会による小学生グラウンド・ゴルフ教室が開催された。この他、バスケットボール体験教室（飛騨市バスケットボール協会）、KIDS サッカーひろば（飛騨市サッカー協会）も開催された。今年度は競技人口拡大、競技普及のための事業が主であった。次年度以降も引き続き支援をしていく予定である。

◇組織の充実

昨年度に引き続き、備品購入を実施した。購入備品は下記のとおりである。今年度は会長より団体へ手渡し式を行い、感謝の気持ちで大切に使用してもらう意識を高めた。購入費用については、本会計と贊助会費とで支出した。

バスケットボール男子、バレー男子マスター女子の県大会出場に伴い、ユニフォーム作成費用の補助を贊助会費より支出した。

令和6年度購入備品

団体名	備品名
飛騨市陸上競技クラブ	スタートティングブロック 2台
	ストップウォッチ 6個
飛騨市サッカー協会	ゴールネット 1張
飛騨市バスケットボール協会	デジタルタイマー 1台
飛騨市卓球協会	練習用自動ボールマシン 2台 防球ネット 15台

4 生涯スポーツの普及推進

今年度も加盟団体が主催する市民大会が計画され、15大会が開催された。（詳細は6ページ）多くの市民が参加し楽しむことができたが、種目によっては参加人数やチームの減少傾向、複数日にわたる長期大会では都合により人数が揃わず棄権というケースもあった。今後の運営の課題も出てきたため、次年度に向けて意見交流し課題の洗い出し、検討が必要である。

地域に根差してきた事業の継続として、実行委員会運営による地域事業は、宮川町大運動会が計画されたが、台風接近により中止となった。また河合・宮川の盆野球は開催そのものがなかった。

5 中学校部活動の地域クラブ化への協力及びスポーツ少年団への育成支援

中学校地域部活動の地域クラブ化を8年度に控え、指導者育成および資質向上は重要であり、本会としても重点を置いている。岐阜県及び岐阜県スポーツ協会が主催する地域指導者育成研修会への参加呼びかけを積極的に行うと共に、参加者への補助を行った。指導者資格取得や更新のための講習への参加者に対しても支援を行い、指導者の確保にも力を入れていく。

6. 行政との懇談

◇市長面談

5月29日(水)に市長面談を行った。澤市議会議員にも同行していただき、協会からは会長、理事長、事務局が出席、スポーツ振興課西田課長、中垣係長、上田主査が同席された。協会からは、スポーツ施設の照明のLED化、協会予算の交付金増額を要望した。古川のトレセン、その他のスポーツ施設の改修をする現状について市財政の現状と今後の展望について回答をいただいた。後日、協会予算の交付金は30万円の増額をいただくと共に、スポーツ振興課と合意により交付金、補助金による支出項目の棲み分けを見直した。

◇スポーツ振興課との懇談

11月15日(金)のスポーツ振興課との懇談では、先鋒より事前にいただいた質問事項への回答をもとに意見交流を行った。持続可能な組織も含めた今後の組織運営、指定管理制度、スポーツによる街づくりへの参画について意見交換をした。双方に疑問点や課題を明らかにしていくことで、よりよいスポーツ振興のためにも来年度以降も継続していくことになった。できれば予算要望に反映できる7月下旬に実施したい。

7 情報発信

◇ホームページ

ホームページによる各種大会の情報掲載、申込やとりまとめを行った。大会結果をすみやかに掲載し、素早い情報提供を行った。各種申請様式のダウンロードもホームページから実施している団体もあり、更なる事務の簡素化につなげたい。ホームページの周知度がまだまだ低いことが課題である。

◇会報誌

会報第4号を発行した。当協会の活動を広く知つてもらうために町内回覧と新聞折り込みにて配布、ホームページにも掲載した。年に1度の発行であるため内容が盛りだくさんになってしまい、旬な話題提供としても次年度は年2回の発行を目指したい。SNS（フェイスブック）にも何度か記事を投稿してはいるが、周知度が低いことと事務の手がなかなか回らないのが課題である。

8 頑彰事業

令和4年度に策定した表彰規程により、各団体から推薦のあつた個人12名及び4団体を、令和6年度総会時に表彰し栄誉を讃えた。

また、全日本パラ空手道競技大会女子2-E型優勝の大畠豊美さんには賛助会から報償費を贈った。